

2020年4月13日

2020年3月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は出版本文、テキスト関連で動きが見られたものの、全体的には年度末らしい動きが見られず低調な動きで前年を下回った。

（前年比 97.7%）

巻取は新型コロナウイルスの影響を受け生損保関連の部数調整での減少、パンフレット・チラシ関連は企画中止が多数見られ前年を大幅に下回った。

（前年比 83.0%）

再生紙平判は全体的には低調であったが、大口定期物件の押し上げで9カ月連続で前年を大幅に上回った。再生紙巻取は入札物件も前年並みの動きで推移したが、一般紙への変更もあり若干前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 114.4% 再生上質巻取 94.2% 再生上質計 106.1%）

（前年比 印刷用紙 A 94.2%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、官公庁関連で年度末需要があったものの、WEB化による部数の減少と新型コロナウイルスによる各種イベントの延期、中止等の影響が大きくグロス紙、マット紙とも前年を大幅に下回った。巻取は教育関係、企業カタログ、事業報告書等で動きがあり再生紙需要も一部回復したものの、平判同様の影響が強く前年を下回った。

（前年比 平判 80.5% 巻取 97.1% 全体 83.6%）

<A3 コート>

学習塾、スーパー、有料老人ホーム等定期案件の動きはあったものの、継続的な紙離れに加えて、新型コロナウイルスの影響が国内外の旅行・観光業界等を直撃し前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 79.3% 巻取 75.9% 全体 77.3%）

<ノーカーボン紙>

新型コロナウイルスの影響も若干あり生損保関連は動きが弱かった。その他新規案件、一般の帳票関連の動きも平判は非常に弱く、巻取と共に前年を下回った。

（前年比 平判 88.3% 巻取 92.2%）

<上質フォーム>

DM 関連が若干動いたが、生損保関連、金融、官庁関連の納付書をはじめ全体的な動きは弱かった。新規案件も無く前年を大きく下回った。

（前年比 88.7%）

<包装用紙>

特殊両更は官公庁、金融関係、一般企業向けの年度末需要が好調で前年を上回った。（前年比 120.3%）
その他は新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要減少、外出自粛による消費低迷で、軽包装（前年比 75.9%）、片艶晒（前年比 83.6%）、両更晒（前年比 84.8%）、純白ロール（前年比 96.3%）と各種軒並み前年を下回った。
包装紙全体で 82.0%と前年を下回った。

<板紙>

新型コロナウイルスの影響で土産物や化粧品関連などは減少傾向だったが、日用雑貨や食品関係等は堅調であった。昨年の動きが鈍かったため昨年対比は上回っているが、全体的には低調である。
（前年比 106.0%）